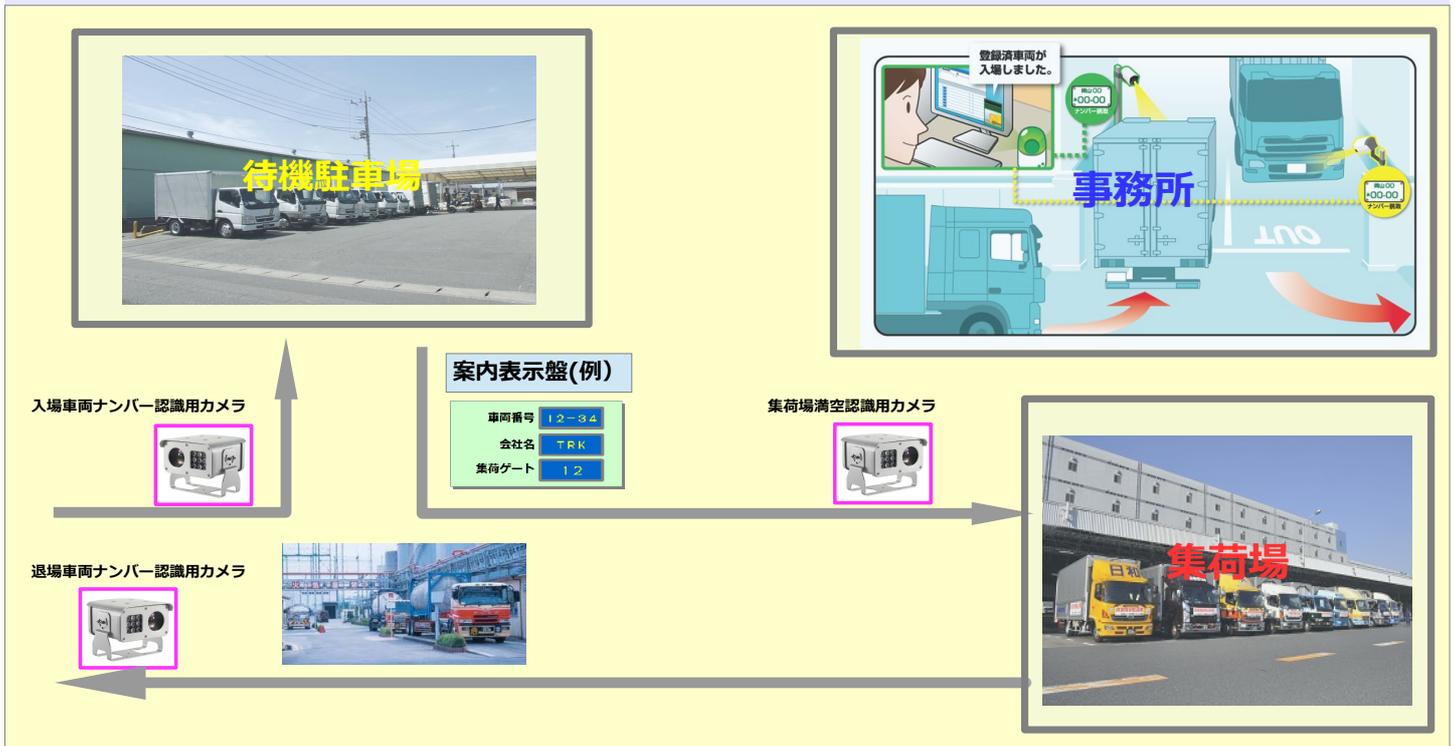


【車番認識システム】事例案

事例案 : 構内車両管理システム

【概要】本システムは、工場敷地や工場建屋あるいは、駐車場へ入場・来場するすべての車両のナンバーを検知対象とし、カメラにて取得した車両映像と認識した車両ナンバーを後段の上位システムに送り、利活用いただけるシステムとなります。



【システム対象範囲】

- 1) : 事前登録 (準備)
入場・来場する車両を有する企業より、車両登録の申請情報を受け、システムのデータベースに登録 (取消・登録・修正・抹消) しす。
- 2) : 稼動
入場・来場する車両をカメラで撮影。同時にナンバープレート画像と、テキスト化された車両ナンバーを上位システムに送ります。
- 3) : 運用
カメラ位置のロケーション情報と取得した画像と検知した車両ナンバーを上位システム側へ送り、上位システム側で入退場車両を管理します。

【目的】

- ・待ち行列の車両を自動認識し、到着順序により公平な通過ルールを作る。
- ・構内での車両の入場から退場までの滞在時間管理並びに積み込み作業の効率化。
- ・災害対策上、構内に滞在する車両の入退場を管理する。

【稼動イメージ】

- 1) 敷地内への車両の入場検知 (事前登録で車両番号の一覧データベースと照合)
 - ・車両ナンバー検知カメラによる入場許可車両の自動認識。
- 2) 納品・検品場所での確認作業
 - ・到着車両のナンバー検知の自動化により、出荷積み込みの確認作業で時間短縮を図る。
- 3) 構内から退出する車両を自動検知により、構内の滞在車両を把握する。